

各教科

子供が「主語」となる学習時間の形成



学習リーダーが、チームごとの本時のめあてや学習の流れを確認し、進行します。児童主導で課題解決し、チームのめあての達成に向け、主体的に関わろうとする態度を養っています。



個々の課題に適した課題解決（個別最適な学び）

自己や仲間の動きの変化や伸びを見付けたり、考えたりしたことを他者に伝えたり、聞いたりすることで、課題を調節し、主体的に学習に向かう態度を育てています。



チームの能力に応じた練習（協働的な学び）

チームの能力に適した練習場所や方法を話し合い、課題を解決しようとする力を育てています。チームの伸びや、成果を互いに褒め合い、自己肯定感を高めています。

総合的な学習の時間

課題発見・情報収集



活動の初期段階では、児童が自分たちの移動教室をどのようなものにしたいかという願いや思いを確認し、それを達成するための手だてについて考えました。

横断的な見方・考え方



レク係では、これまでの学級活動や前年度の移動教室の成功例を基に、「時間配分」や「全員参加型のゲーム」の企画、工夫を取り入れるなど、横断的な見方、考え方ができるようになりました。

情報の整理・分析



班長たちは、仕事を単に列挙するだけではなく、必要性や優先順位を考えながら、タイムラインに沿って班長の動きをシュミレーションする場面もありました。

学校の教育目標「自立・共生・健康」